

# つばさだより 11月号

港区適応指導教

<つばさ教室>

平成26年11月1日発行



港区東麻布2-1-1 電話：3589-2071

HPアドレス：<http://www.l.r3.rosenet.jp/tsubasa/>



## 日常生活に教育を織り込むことの大切さ

先日、知人との会話の中に「最近、家族団欒という言葉を目にしなくなったという話題になりました。その中で、『家族との楽しい思い出』と題した絵を目にした時、どの子の絵も一生懸命書いたことが伝わる微笑ましい絵ではあるが、多くの子供たちが、父親の姿が母親よりも小さく描いてあったのに驚いた」ということがありました。さらに深刻な表情をされ「このことは、心理学の面からみると父親の存在感が子供たちの意識の中に薄いこと」を表しているとのことでした。

また、テレビ番組の中で小・中・高校生の子供がいる家庭で、家族団欒の時間をどう過ごしているかをいくつかのご家庭をモデルにした番組がありました。すると、親子ともども同じ場所にしながら会話をするのがほとんどなく子供たちは各自が携帯でメール等をし、中には、親御さんも一緒に携帯メール等をしている様子が映し出されました。

これらは、家庭の一部分の現象ですが、人間教育としての“子育て”を視点にして日常の色々な場面を多面的に見ていくと“人間教育”の機会が薄くなっていると近年言われていることにつながります。

家族全員がそろって食事ができない場合でも、家族への思いやりの心を食卓に用意するなり、食事中に仕事等に頑張っている様子や感謝を含めた表現を話題にすることで、家族の和や働くことの重要性とともに、この場にはいない家族の存在感を実感するのではないのでしょうか。そうすることで、家族の深まりが子供たちの意識下に存在感が定着されるのではないのでしょうか。

特に、現代を生きる子供たちにおいては、一面的な見方や利己的な行動を慎ませる育成を深める必要性があると考えます。

よって、心豊かな人間を育てるには、日常生活のあらゆる場面を通し、社会情勢や家族の在り方を踏まえ、お子さんの個性や状況を捉えながら色々な方法や策を織り込み伝え・育てることが重要のようです。

私たち、つばさ教室の指導においても、さらにお子様一人ひとりの状況を踏まえ、“今、改善すべきことが何かをしっかりと把握し” 日常の生活に織り込み育てていきたいと思っております。

何かお子様のことで、ご心配のことや気になることがありましたら、お気軽にお声掛けいただき共通理解をもって、一緒に考え・育成していければ幸いです。



## 栽培活動でかぼちゃを収穫



10月3日(金)生徒たちとともにつばさ教室の菜園で実った“かぼちゃ”の収穫をしました。直径約15cm・高さ約8cmほどの物と直径約8cm・高さ約6cmほどの栗かぼちゃです。

栽培過程では、実が10個ほどつきましたが、直径2cmぐらいになると枯れてしまいました。そんな中、1つでも実ってほしいと願っていただけに、生徒も指導員も収穫を迎えられたことに大感激でした。

特に、こまめに水やりをし、かつ収穫のためにハサミを入れた生徒は、「こんなに大きくなると思わなかった。芯がすごく固い」と実感を言葉にしていました。

かぼちゃを食すには、収穫してから2～3ヶ月たないと甘みが出ないとのことでしたので、しばらく飾ってから、味見ができたかと思っておりましたが、大きいかぼちゃの底面が痛み始め、黒ずんできたので切って出来栄を確認してみました。外見の形成、色合い、果肉や種のでき方等から見てみればとても素晴らしいできと判断できました。小さな方は、飾ってありますので来室の際は、見ていただければ幸いです。

## 柔軟性を披露～第二回ヨガ教室～

第二回ヨガ教室を10月17日(金)に実施しました。今回は、新たにヨガ体験を行う3名の生徒を含み4名の児童・生徒がヨガ教室に参加しました。

内容は、第一回目のポーズを再度行いました。児童・生徒は、はじめは緊張した表情で講師の浅輪先生の指示に従ってポーズを決めていたがだんだんと柔軟性をましてきました。

このような児童・生徒の取り組みやポーズをみて、先生から一人ひとりの素晴らしいところを伝えてくださいました。

各自、自分の良さを聞き、とても嬉しそうなかにもちょっと照れくさそうな表情を見せていました。また、お互いの良さを通し、自分のポーズを見直す行為もみられ、自己表現力を高めていました。



私は、2回目の参加でした。  
そのためか、筋肉痛が軽かったです。  
中3

これを機会に習ったポーズを  
家で寝る前にやってみました。  
小6



# 秋の味覚芋ほりを体験



晴天に恵まれた10月20日（月）、東麻布街づくり協議会の皆様が丹精こめて育てられたさつまいもを、御好意で芋ほりさせていただきました。参加した児童・生徒5名の中には、芋ほり体験が初めての児童・生徒も2名おり、とても楽しみにしていました。

いよいよ芋ほり体験の準備です。生徒の表情には期待があふれていました。まず、土で足が汚れないようにレジ袋で足をおおい、手には軍手をはめて、スコップやシャベルを持って畑に入りました。

つばさ教室用にと区画をしてくださった端から、一列に並び掘り進めていきました。大きい芋に出会う子・どんなに掘っても小さい芋や芋に出会えない子とさまざまでしたが、仲間の収穫に「すごく大きい」「こんなに太いんだ、私も掘りたい」等、ともに感動を表現していました。また、掘り進める過程では、協力し合う姿も見られました。

最後に用具とともに、掘ったさつまいもを綺麗に洗い、しばらく干して乾燥させ甘みを増加させました。後日みんなで調理していただく予定ですが、『大学芋が良いとか、スイートポテトが良い』等の希望の聲が飛び交っていました。

さらに、児童・生徒たちも楽しみにしているさつまいものつるを活用してクリスマスリースの土台も作成しました。はじめは、つるを巻くのに悪戦苦闘していましたが、慣れてくると手早く、かつ形もよくなりました。こちら、後日今回作成した土台に飾りつけをして、クリスマスの飾りつけへと発展させます。

最後になりましたが、東麻布街づくり協議会の皆様に感謝申し上げます。



## 児童・生徒たちの感想

土まみれになっ たけど宝探し気分 で楽しかった。 小6	お芋を 掘れなか った。 中3	自分は1個も大きいの が掘れなく悔しい思いを しました。しかし、皆が掘 れてよかった。小6	つるでリースの土台をつくり ました。最初は難しかったけど、 だんだんうまく巻けるようにな り良かった。 中3
--------------------------------------	--------------------------	--	---



# 箱根遠足体験

前日までの天候が嘘のような晴天に恵まれた10月24日(金)、待ちに待った箱根遠足です。参加した児童生徒は4名です。8時20分には、笑顔で全員集合し出発のお話後、バスに乗車し一路箱根に向かいました。東名高速が工事のため20分ほど到着が遅れましたが、箱根旧街道資料館・甘酒茶屋から県立恩賜箱根公園までの杉並木ハイキングでは、前日の雨の影響からか、山道の石が滑りやすい状況でしたが、弱音を吐くこともなく、20分間の遅れを取り戻すほどの速歩で快調に歩を進めていました。

昼食は、疲れた体を休めながら芦ノ湖を眺めながらとることにしました。各自ご家庭の方々の愛情のこもったお弁当を広げ、それぞれのお弁当を見せ合うように、おかず談義をしながら楽しそうに食べていました。

その後、大涌谷で硫黄の漂う雄大さを肌で感じる中で“黒たまご”をいただき、一層のおいしさに舌つづみを打ちました。

帰りの渋滞が激しいとの情報から、仙石原高原はバスの中から見学しました。参加した児童・生徒はこの遠足を通し、多くの体験を味わったようです。参加した3名の児童・生徒の作文を掲載します。

私は、今回の箱根校外学習に参加しました。今回は、バスで箱根に行きました。

まず最初に箱根旧街道に行きました。険しい道を歩き大変でしたが、歩ききることができました。

次に恩賜箱根公園で昼ご飯を食べました。芦ノ湖を前に食べたご飯はいつもより美味しかったです。最後に大涌谷に行きました。壮大な景色に驚きました。今回の校外学習はとても楽しかったです。

中3

箱根では、食・自然・歴史の学習ができました。とても短い1日のように思えましたが内容がびっしりと詰まった1日でもあったようにも思えました。

箱根旧街道や仙石原湿原では改めて自然は人の手では作りだせない良さを感じたし、大涌谷では温泉の力で黒たまごが出来ていてまた自然が協力していました。このことから箱根には、自然が欠かせないのだと私は思いました。

小6



私達は、校外学習で「箱根」に行ってきました。まず、ハイキングをしました。「箱根旧街道」というところで、途中坂があって少し大変でしたが、緑がいっぱいで空気もおいしかったです。ハイキングをして疲れた後は、「恩賜箱根公園」で、お弁当を食べました。景色もきれいで、お弁当が一段とおいしく感じました。最後にみんなで記念撮影もしました。最後に「大涌谷」に行きました。硫黄の匂いが凄くて、湯気ももくもくしていました。みんなで黒たまごも食べました。本当に真っ黒でした。でも、とてもおいしかったです。普段は、あまり触れられない緑や、おいしい空気に触れられてとても楽しかったです。また、公共のマナーを守ったり、自然を大切にするとということを改めて確認することができました。小6

# つばさ教室に新たな仲間が来室

現在、つばさ教室に来室する児童・生徒の数が、二学期以降4人増加しました。その後も来室希望児童・生徒の問い合わせが増えております。

来室児童・生徒が増えたことで、つばさ教室での人間関係における触れ合いが活性化され、教室からは笑い声が響き、かつ切磋琢磨し合う姿が見られます。

是非、保護者の皆様には、帰宅後のお子様の会話にしっかり耳を傾け、つばさ教室での活動ぶりを聞いていただきたいと思ひます。さらに、会話の中に入りながら、お子様の心情を把握していただければと思ひます。そして、気になる様子がありましたら、ご遠慮なく問い合わせいただければ大変ありがたく思ひます。

ご家庭と協力し、同一步調をとってお子様を育てたいと思ひておりますので、どうぞご協力よろしくお願ひいたします。

## 着任のあいさつ

平成26年10月1日より平成27年3月31日まで、2名の指導員が着任しましたのでご紹介します。二人とも児童・生徒への指導にとても熱心に取り組んでおります。どうぞよろしくお願ひいたします。

### 指導員 福井 麻実

はじめまして。10月から週に3日間（主に月火水）つばさ教室で働かせていただくことになりました福井麻実と申します。好きなことは工作と料理です。学生時代はバレーボールと軽音楽をしていました。つばさ教室に通う子どもたちが、毎日元気にのびのびと過ごせるように、また将来の夢や目標に向かってがんばろうという気持ちを応援して少しでも力になればと思ひております。どうぞよろしくお願ひいたします。

### 指導員 大槻亜門

10月から臨時職員としてつばさ教室の一員になりました大槻亜門です。毎週木曜日のみですがつばさで子どもたちと過ごしています。現在私は大学三年生で、大学では主に臨床心理学・学校心理学を専攻しています。少しでも早くこの一員として馴染めるよう努めていきたいと思ひます。来年の春までの半年間、何卒よろしくお願ひいたします。

## 11月の行事予定

- ★ 体育活動＝11月5日・12日・19日・26日（水曜日）赤羽小学校にて
- ★ 茶道体験＝11月4日（火曜日）白色の靴下・しおり・交通費・お弁当持参です
- ★ 指導員研修＝11月11日（火曜日）退室は午後1時30分です
- ★ 校外学習（社会科見学）＝11月28日（金）